

## 仁淀川地域アクションプランの進捗状況等について

H24. 1. 25

第2回仁淀川地域フォローアップ会議

## 1 地域アクションプランの第1四半期の実施状況（総括）

## (1) 総評

## (ア) 事業の推進状況

全38プランについて、実行支援チームを組織し、支援、進捗管理を実施しており、21・22年度に総合補助金等を導入した17件については、アドバイザー制度なども導入しながら、整備された設備等を活用した生産の拡大や目標達成に向けた取り組みが続いている。

21年度に総合補助金等を導入したものの内4件（「仁淀川流域茶のブランド化を主体とした茶の振興」・「力強い高精度トマト産地の確立」・「うるめのブランド化」・「越知町の総合的な観光推進と地場製品の販売促進」）は、22年度においても継続事業として総合補助金を活用し、販売拡大などの事業の推進を図った。

また、「越知町の総合的な観光推進と地場製品の販売促進」においては、22年度に新たな取り組みとして「仁淀川を活かした体験型観光強化事業」にも総合補助金を活用し、当該事業の推進に取り組んだ。

加えて、22年度新たに追加された農業分野の「加工用ワサビの加工」及び「生姜の加工（生姜出荷施設整備事業）」、商工分野の「企業進出による雇用の増（ペット用木質系排泄物処理剤製造施設整備事業）」、「地域産品を活用した冷菓等製造施設整備事業」の計4件についても、22年度に総合補助金を導入し、事業の推進に取り組んだ。

産業振興推進アドバイザーについては、21・22年度で、観光分野や農業分野を中心に22件のアドバイザーの派遣を実施、本年度においても1月現在で12件の派遣申請がなされている。

22年度から始まったステップアップ補助金は、21年度に産業振興推進アドバイザーを導入して検討してきた、農業分野での地場産牛乳の加工製品の開発を目指す「さかわの地乳による産業活性化事業」に導入、事業化への取り組みを支援した。この成果を元に本格的な商品化に取り組むことになり、本年度に総合支援事業費補助金を利用し、商品開発などの事業を実施している。

また、本年度は、池川茶を使ったスイーツの販売促進への取組「池川茶園スイーツ工房スタート事業」、土佐市における量販店跡地への集客施設整備への取組「サンシャイン跡地集客施設整備事業」、土佐市文旦を活用した高価格帯の飲料品製造販売への取組「土佐文旦加工品販売促進事業」、仁淀川町において観光ガイドの育成や素材の発掘等への取組「仁淀川町観光ガイドの学校プロジェクト事業」の4事業にステップアップ補助金を導入、事業の推進に取り組んでいる。

その他、「生姜の加工（生姜出荷施設整備事業）」、「力強い高精度トマト産地の確立」、「地域産品を活用した冷菓等の製造」においては、本年度においても総合補助金を活用し、事業の推進を図っている。

観光分野では、これまでの調査の段階から、佐川町や仁淀川町での街歩きガイド付きのツアーなど着地型の具体的な旅行商品を造成し旅行代理店を通じて販売するなど具体的な取り組みが進んできている。

更に、「志国高知 龍馬ふるさと博」に合わせた、街歩きや川遊び体験などの団体向けの体験観光メニューの作成に向けた取り組みも進み、いの町と越知町で、22年度に総合補助金等を活用したラフティングやカヌーの体験型メニュー造成への具体的な取り組みが進み、本年7月から提供されている。

## (イ) 広域観光の推進

観光関係アクションプランの推進のため、仁淀川流域全体の魅力を高め、域外にアピールするとともに、地域全体の資源を活用した旅行商品の企画や造成、旅行会社との連携、共通パンフレットや地図の作成などの広域的な情報の収集、発信などを行うため、「仁淀川地域観光協議会」が22年10月に設立され、「ふるさと雇用基金事業」を活用して旅行業等に経験のある専任の職員を採用し、11月から活動を開始している。

22年度は、広域観光地図の編集会議の開催や、観光情報を発信するための人材育成事業等を実施したほか、3月には国の補助事業を活用し、当地域での日帰りモデルパッケージツアーを実施した。こうした取り組みの結果、愛媛県の旅行会社による企画商品として、23年5月から当地域での日帰りパッケージツアーや夏休みの体験ツアーを実施、12月現在で25ツアー・、418人の参加実績となっている。引き続き、地域内の観光資源の一層のブラッシュアップを図り、地域観光商品としての販売に繋げる。

また、NHK 高知放送局が製作、全国や四国地域へ7月から9月に放送した仁淀川特集番組を仁淀川のイメージアップの絶好の機会としてとらえ、それと連携して仁淀川の知名度向上と、旅行商品、特産品等のPRのための取組を推進する。

(2) 具体的な動き（平成21・22年度の実施状況＋平成23年度第3四半期の実施状況）

重点的に取り組む施策	取組状況（課題、結果、成果等）
<p>地域の特色を活かした多様な農業の展開 「No.1 地域の基幹品目及び推進品目等の産地の維持・発展」</p>	<p>【H21年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹品目の産地ビジョン検討会議の開催（19回）</li> <li>・国交付金、県総合補助金によりJAとさし西部集出荷施設を整備（H21・22） 土佐文旦出荷量の拡大、露地生姜の販路拡大を図る 集出荷場棟整備（延床面積 2,077㎡）</li> </ul> <p>【H22年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光センサー選果機（文旦）・高精度重量選別機（生姜）導入</li> <li>・国交付金、県総合補助金によりJAとさしの青ねぎパーシャル自動包装機等の整備</li> </ul> <p>【H23年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県総合補助金により、JAとさし野菜集出荷施設増築 土佐市のピーマンの集出荷場の機能向上を図り、生産量の拡大を目指す</li> </ul> <p>【課題】 光センサー導入による選果で、出荷できなかったものを加工用に販売する仕組みづくり</p> <p>【対応】 県内酒造メーカーとの協定により、リキュールの原料として継続的に供給</p>
<p>「No.9 仁淀川流域茶のブランド化を主体とした茶の振興」</p>	<p>【H21年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県総合補助金により仁淀川流域茶産地振興協議会が販促を実施 販促資材の作成（ロゴシール、ポスター・パンフレット、のぼり等） 販促イベントへの参加（6回、平均集客500人以上）</li> <li>・産業振興アドバイザーの派遣（2人）</li> </ul> <p>* 小売の販売額の増加 1,071.9万円（対20年）</p> <p>【H22年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興アドバイザーの派遣（紅茶の商品開発に向けた加工技術向上、マーケティング調査）</li> <li>・県総合補助金により仁淀川流域茶産地振興協議会が県内外での販促を実施</li> </ul> <p>【H23年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興アドバイザーの派遣（紅茶の高品質安定化に向けた加工技術の向上）</li> </ul> <p>【課題】 製品茶販売のプロモーション能力の向上、販売促進のためのマーケティング活動や商品開発の推進</p> <p>【対応】 イベント等での試飲販売の実施や産業振興アドバイザー制度による専門家の派遣</p>
<p>「No.10 薬用作物の産地拡大による所得の向上」</p>	<p>【H21年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬用作物の作付面積の増加 ミシマサイコ作付面積 H20 37.9ha → H21 38.9ha サンショウ作付面積 H20 15.5ha → H21 25.6ha</li> </ul> <p>【H22年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作付面積拡大に向けた生産者への呼びかけによる面積の増加 ミシマサイコ作付面積 H21 38.9ha → H22 41ha サンショウ作付面積 H21 25.6ha → H22 42ha</li> </ul> <p>* サンショウについてはH23目標の40ha達成</p>

① 地域の重点的な取組

重点的に取り組む施策	取組状況（課題、結果、成果等）
<p>「No.11 力強い高糖度トマト産地の確立」</p>	<p>【H21 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県総合補助金によりJ Aコスモスのトマト選果システム改修 糖度10度以上のトマト選別による新たなブランド化 トレーサビリティシステムの導入による差別化</li> </ul> <p>【H22 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県総合補助金によりシュガートマトのブランド化商品の販促を実施</li> </ul> <p>【H23 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県総合補助金によりシュガートマトのブランド化商品の販促を実施</li> </ul> <p>【課題】 新たなブランド化トマトの販売促進活動の推進</p> <p>【対応】 選果場への広告看板の設置や直販の拡大、アンテナショップの活用</p>
<p>「森の工場」などによる間伐の推進 「No.14 間伐の推進」</p>	<p>【H21 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森の工場希望事業者への説明会（2回）、事業者への個別指導（延39回）</li> <li>・既設5工場に加えて、新規4工場を設置（H21：計画1→実績4） 大西地区（間伐面積 35.00ha） 太田地区（間伐面積 11.47ha） 安居地区（間伐面積 26.97ha） 成川地区（間伐面積 63.84ha）</li> </ul> <p>【H22 年度】</p> <p>長者大植地区、岩柄地区への森の工場設置</p> <p>【課題】 木材価格の上昇に向け、地域の公共施設への導入は一定進んでいるが、更なる木材消費拡大が必要</p>
<p>「宇佐のうるめ」の消費拡大 「No.18 うるめのブランド化」</p>	<p>【H21 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県総合補助金により宇佐うるめプロジェクト協議会が事業実施 直販所「宇佐もんや」の開設（H21.12.1） 県内外19店舗への生鮮うるめの定期発送（県外3店舗、県内16店舗）</li> </ul> <p>【H22 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業組合（宇佐もん工房）の設立</li> <li>・県総合補助金により「宇佐もん工房」の加工施設の整備</li> </ul> <p>売上高 1,407千円（H21）→ 5,493千円（H22） 原材料仕入れ量 2.3t（H21）→ 6.2t（H22） 商談会参加回数 3回（H21）→ 3回（H22）</p>

重点的に取り組む施策	取組状況（課題、結果、成果等）
<p>「土佐和紙」の販売の促進  「No.19 土佐和紙の販売促進」</p>	<p>【H21 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「土佐の山・紙資源の会」へ産業振興アドバイザーを派遣（1名） 土佐和紙の可能性掘り起こしと販路開拓を支援 紙の博物館で「使える和紙展」を開催（10/31～11/20）</li> <li>・製紙工業会との勉強会の開催（3回）</li> </ul> <p>【H22 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機械すき和紙の勉強会及び商品開発に向けた試作品製作等</li> </ul> <p>【課題】土佐楮の確保及びトリエンナーレ展に合わせた販路拡大  【対応】全国商工会連合会から、いの町商工会が受託した「紙の里いの再生プロジェクト」とも連携した販路拡大に取り組む</p>
<p>滞在型・体験型観光の仕組みづくり  「No.28 体験型観光メニューづくり」</p> <p>「No.37 越知町の総合的な観光推進と地場製品の販売促進」</p> <p>* 広域観光への取組み</p>	<p>【H21 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなみガイド等体験型観光メニューの整理（高知県観光産業振興事業）</li> </ul> <p>【H22 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県地域観光拠点施設等整備事業により体験型観光の強化（ラフティング事業）</li> </ul> <p>【H23 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興アドバイザーの派遣（仁淀川流域の体験型観光の振興）</li> </ul> <p>【課題】体験型観光実施主体の確立、観光素材のブラッシュアップ  【対応】産業振興アドバイザー派遣等による体験型観光メニューの強化</p> <p>【H21 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県総合補助金により越知町が観光物産館おち駅を整備（H22. 4. 4 オープン） H22（H22. 4～H23. 3）物産販売部門の売上高 56 百万円</li> </ul> <p>【H22 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県総合補助金により観光物産館おち駅の機能強化</li> <li>・県総合補助金により体験型観光の強化（カヌー・ラフティング事業）</li> </ul> <p>【H23 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興アドバイザーの派遣（仁淀川流域の体験型観光の振興）</li> </ul> <p>【課題】拠点施設の機能充実（観光・物産の情報発信の充実）  【対応】県総合補助金を活用したイメージ戦略の構築・新商品導入事業の実施</p> <p>【H21 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仁淀川地域資源活用共有会議に観光部会を設置 流域全体のPRや地域連携による観光メニューづくりへの取組み 産業振興アドバイザーの派遣（3名）</li> <li>・流域6市町村の観光担当課との協議 流域共通のパンフレット、観光素材の収集・情報発信等の検討</li> </ul> <p>【H22 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流域マップ作成に関する流域5市町村の協議（6/7、7/8）</li> <li>・仁淀川地域観光協議会の設立（10/8）</li> <li>・モデルパッケージツアーの実施</li> </ul> <p>【H23 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行会社と連携したツアーの実施（25 ツアー、418 人）</li> </ul>

② 上記以外で特に動きのあった取組

地域アクションプランの項目名	取組状況（課題、結果、成果等）
「No.3 土佐文目の加工」	<p>【H21 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県総合補助金により菊水酒造株が文旦搾汁機器を導入 土佐文目を原料としたリキュール類を開発 規格外品の加工利用による生産者所得の向上を図る * H21 計画 0 t → H21 実績 14.5 t</li> </ul> <p>【H22 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・菓子製造業者による商品化について、2品を研究 * H22 実績 30 t（H23 目標 80 t）</li> </ul> <p>【H23 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップアップ事業の導入（飲料品開発）</li> </ul>
「No.7 本川キジの販路確保と新たな商品開発」	<p>【H21 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県総合補助金等により本川きじ生産組合が施設整備 給排水施設、加工処理場等の改修</li> <li>・販路の拡大や新商品の開発への取組み 組合、農家等の関係者による定例会の開催（7回） 高知新聞、日本農業新聞、ちやお高知等への記事掲載 * H21 年度 短期雇用 5 名 * H21 生産計画 4200 羽 → H21 実績 1900 羽（売上高 6,576 千円）</li> </ul> <p>【H22・23 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興センター助成金（農商工連携事業化支援事業費助成金）により販路 拡大や新商品開発への取組み * H22 年度 短期雇用 8 名 * H22 生産計画 5500 羽 → H22 実績 3900 羽（売上高 7,818 千円）</li> </ul> <p>【課題】 飼養マニュアルの徹底と庭先農家の確保</p> <p>【対応】 安定した生産体制づくり</p>
「No.22 (株)フードプランの地域商社化への取組」	<p>【H21 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県総合補助金等により仁淀川町が食品加工施設を整備 * H21 年度 新規雇用 3 名</li> </ul> <p>【H22 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)フードプランが新商品開発のため豆腐充填機を導入（11月）</li> <li>・産業振興アドバイザーの派遣（野菜カット時に発生する端材を活用したスー プの製造）</li> </ul>
「No.23 売れる商品づくりによる地産外商の推進」	<p>【H21 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興アドバイザーを派遣（1名）</li> </ul> <p>【H22 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県総合補助金（ステップアップ事業） さかわの地乳を活用した加工品開発への取組み</li> </ul> <p>【H23 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県総合補助金（5/27 交付決定） さかわの地乳による産業活性化事業</li> </ul> <p>【課題】 競争力のある商品開発</p> <p>【対応】 ステップアップ事業による加工品開発への取組み</p>

<p>「No.25 企業進出による雇用の増と地元企業の活性化」</p>	<p>【H21 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県総合補助金により澁谷食品株が食品加工施設を整備</li> </ul> <p>【課題】 県外への販路拡大など販売促進への取り組みの推進</p> <p>【対応】 商人塾への参加によるスキルアップ等人材育成への取り組み</p>
-------------------------------------	--

<p>地域アクションプランの項目名</p>	<p>取組状況（課題、結果、成果等）</p>
<p>「No.30 グリーンパークほどの多面的な活用」</p>	<p>【H21 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県総合補助金によりいの町が整備計画を策定 環境学習施設として整備し体験型観光の推進を目指す</li> </ul> <p>【H22 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境学習施設での具体的体験プログラムの構築 産業振興アドバイザーの派遣（2名）</li> </ul> <p>【課題】 環境先進企業の参画調整</p> <p>【対応】 協働の森の企業を中心としたアプローチの実施や企業を交えた具体的なプログラムづくりへの取り組み</p>
<p>「No.38 国宝と体験型観光による交流人口の増と地域の活性化」</p>	<p>【H21 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業振興アドバイザーを派遣（1名） 地域の観光資源を活用した観光ルートづくり</li> </ul> <p>【H22 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業振興アドバイザーを派遣（1名） モニターツアーの実施（8/28、9/13、10/18、1/18、3/9）</li> </ul> <p>【H23 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業振興アドバイザーを派遣（2名）</li> </ul> <p>【課題】 観光素材のブラッシュアップ</p> <p>【対応】 産業振興アドバイザー派遣によるモニターツアーの実施</p>
<p>「No.4 生姜の加工（生姜出荷施設整備事業）」</p>	<p>【H22 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県総合補助金により株前川博之商店が生姜の漬物用充填機等を整備</li> </ul> <p>【H23 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県総合補助金により株前川博之商店が生姜の加工工場を整備</li> </ul>
<p>「No.26 企業進出による雇用の増（ペット用木質系排泄物処理剤製造施設整備事業）」</p>	<p>【H22 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県総合補助金により株エスエスが猫砂製造の施設を整備</li> </ul>

## 2 地域アクションプランへの追加・修正項目等

### (1) 地域アクションプランの追加項目

なし

### (2) 地域アクションプランの修正項目

なし

### (3) その他

地域本部への相談 7件

- ・ 食料品製造会社（仁淀川町、4月14日）  
新商品製造設備等の整備について
- ・ 生姜加工会社（土佐市、4月18日・5月24日）  
加工品製造設備の整備について
- ・ 食料品製造会社（いの町、5月10日）  
海外向けHPの作成について
- ・ 生産者団体（いの町、5月17日）  
サトウキビの搾汁について
- ・ 土木会社（土佐市、5月17日）  
新分野への進出について
- ・ 食品製造会社（いの町、5月17日、9月1日）  
海外市場への販路拡大について
- ・ 食料品製造会社及び生産者団体（南国市・土佐市、6月14日）  
新商品開発について
- ・ 生産者団体（土佐市、6月14日）  
文旦加工製品の商品開発について
- ・ 木材加工会社（土佐市、6月24日）  
販路開拓及び支援について
- ・ 生産者団体（いの町、7月22日・28日）  
新規商談会への参加について
- ・ 生産者団体（仁淀川町、8月30日）  
竹炭の製造販売について
- ・ 商工会等（いの町、9月9日、11月22日）  
地域の酒蔵の活用について
- ・ 生産者（土佐市、10月18日）  
生姜パウダーの販路開拓について
- ・ 青果販売会社（土佐市、12月1日）  
にんにく加工品の製造販売について